

第4回 新城地域協議会 会議録（要約）

日 時	平成26年7月15日（火） 午後7時 ～ 午後9時30分
場 所	旧新城市民体育館1階 第1会議室
出席者	委員23名（欠席者なし） 事務局 5名
傍聴人数	1名
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 議事 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域自治区予算について 3. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成26年度自治区予算事業交通安全の仕様について
<p>1. 開会 本日の会議成立の報告及び会議録署名委員の指名（加藤委員・清水委員）</p> <p>2. 議事 ・ 検討に先立ち、事務局より地域自治区予算についての説明を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地域自治区予算の概要 ②計画作成及び事務の流れ ③地域自治区予算事業の要件 <p>平成27年度の候補事業として、昨年度に建議した平成26年度新城地域自治区予算事業から来年度も引き続き実施すべき事業を含め、次のとおり候補事業が挙げられた。次回、地域協議会までに事務局が各行政区等への調査や各課等と調整を行い、各候補事業予算を示した上で協議することとなった。</p> <p>【平成27年度新城地域自治区予算候補事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域安全灯設置費補助金の上乗せ ・ AEDの設置 ・ 防災資機材等整備 ・ 小中学校運営における課題・要望等解決 ・ こども園運営における課題・要望等解決 ・ 新城地域自治区大茶話会の開催 ・ 新城地域自治区大茶話会での意見の反映 ・ 新城地域自治区地域人材育成事業 ・ 地域活動交付金の拡充 	

- ・高齢者の生きがい・社会参加の促進、人材育成
- ・高齢者向けミニディサービスの推進
- ・高齢者等生活支援
- ・桜淵公園の桜メンテナンス
- ・バス停及び地域へのベンチ設置

<主な意見等>

委員	AEDを各所にしてはどうか。公民館に設置するにしても、夜間に人がいないため、24時間いつでも使えるかということがある。新城中部地区全体を考えて設置をした方が良い。
会長	この件は、先日実施した人材育成事業後のワークショップにも挙がっていたので、候補に挙げてはどうか。
委員	併せて講習会の実施もぜひお願いしたい。
委員	各小中学校、こども園はそれぞれの課題について担当課に要求を出しているのか。
事務局	出している。担当課では、全市的一律に考えていくと予算付けをすることが難しい状況にある。要望の中には、長年叶わないものも実際にはある。
委員	地域自治区予算でみていくと、担当課でも地域自治区予算を頼っていくことが当たり前になってしまうのではないか。
事務局	担当課との調整はしていくが、昨年度の考え方は、新城中部地区の子供たちのためという議論の中で予算付けされた経緯がある。
会長	今は、候補というところで整理をお願いしたい。
委員	候補で挙げるのは良いが、何かすっきりしない。教育以外のところでも、予算付けされないということはあると思う。どの部署でも自治区予算でやってもらうかという話になった場合に、制度がおかしくなるのではないか。
会長	担当課が予算を出し渋っていれば、地域自治区で予算をつけるのではないかという考えではいけない。市の全体を見たときに、一部にだけ特化して行うわけにはいかないという理由で予算付けできないものについて、我々地域協議会の出番があるのではないか。逆に自治区予算で行った事業を教育委員会で予算付けされては困る。そういうチェックをすることは考えた方が良い。事務局は、そういうところを確認して、具体的な事業案として説明できる形で挙げていただきたい。
委員	大茶話会では、あらゆる世代が集まるということで、その結果を事業案として拾ってはいかがか。
委員	地域人材育成事業は、本当に大切な事業である。まだ、具体的なテーマは決まらないにしても、大枠の予算は確保しておきたい。

会長	できれば、次回には案が出て検討できれば良いですが、実施に向けて候補としては挙げ、方向性としては人材育成事業は続けていくということによろしいか。
委員	地域活動交付金について、他地区では審査で合格点に達しても、予算不足のために不採択というところもあると聞く。自治区予算でそういう時のために予算を確保することもできるか。
事務局	自治区予算は一般財源であるので、その使い道を交付金とすることは可能。想定としてどの程度を予算として考えるかをご検討いただきたい。予算付けしたが不用なる場合も考えられる。
会長 事務局	逆に、地域活動交付金を自治区予算に充てることはできない。 地域活動交付金は、一般財源とは別に確保されている基金を財源としている。基金の使い道は条例で決まっているため、自治区予算に充てることはできない。
委員	元気を持て余しているお年寄りがたくさんいる。デイサービスとかではなく、元気な人たちが出かけられるところがあったら良い。
委員	今のご意見は大変重要なことである。若い人達を人材育成して将来に備えるという意識はあると思うが、これからの高齢化社会に向けては、元気な年寄りがいっぱいいるという中で、お年寄りを人材育成することによって地域が生き活きとしてくるのではないかと。様々なノウハウも持っている方に目を向け、地域で人材育成を行うことが大事である。
委員	お年寄りの住みやすいまちということで、独居老人や老人世帯の生活支援ができないか。これは、単年度ではなく継続してやっていくことになろうかと思うが、何らかの方法でできないか。
会長	高齢者対策について、どのようにお金を絡めて事業ができるのか、皆さんの知恵をいただくとありがたい。
委員	地域拠点でのミニデイサービスがあり、これには、社会福祉協議会からの助成金が出るようになった。もう少し大枠で考えて運営費用を賄えるようなことができれば、今まで家から出て来なかった人たちの参加促進にもつながるのではないかと。
会長	新城中部にどのくらいの団体があるのか、横のつながりがあれば情報をいただき、自治区予算で何ができるのか検討できればと思う。
委員	桜淵公園の桜がどんどん傷んでいると見受けられる。桜淵に行く南北の道路沿いの桜もだいぶ傷んでいるのではないかと。ボランティア団体の活動に何かバックアップできないか。
事務局	予算としては、ボランティア団体に対する市からの委託、補助金、植樹のための苗代など方法は様々ある。桜淵公園全体を観光の面で計画的に整備していくという動きもあるので確認する。

委員	<p>市のバスの運用について検討する会議で、大学の先生に、市民病院前のバス停で、定刻に着かないバスを立たせて待たせるのは、外から来た人には不親切なまちというイメージを与える。そういうベンチ一つも置かないで、本当に公共交通をやる気があるのかというお叱りを受けた。バス停に限らず、自治区内全体で座れるところを整備できないか。3年前のプレ市民総会では、中学生が「座れるまち」という考案をしてくれた。座れるところがないから、地域でのコミュニケーションがなくなるという話をされたが、それをこの自治区予算でできないか。</p>
<p>3. その他</p> <ul style="list-style-type: none">・平成 26 年度自治区予算事業交通安全の仕様について・情報開示請求への対応について報告した。・空き家対策について答申後の進捗状況（委員からの問合せ）	

【終了】